

本町の畜産クラスター事業

桜井崇裕 議員

①計画作成段階に入っていると
思われるが、生産者からどのよ
うな要望があるか。

②TMR（混合・完全飼料）セン
ター等をクラスターの中で考
えては。

③糞尿対策として、バイオマス
プラント計画はあるか。

④酪農ヘルパー等の人材育成や、
担い手支援の考えはあるか。

高薄町長

①農協から44戸87機種に
わたる機械のリース事業への
要望があり、このうち24戸
20機種の貸し付けが決定し
ている。

ハード事業では、施設整備に
関わってパーラーやフリー
ストールの関係で31戸の
要望がある。

②町の畜産クラスター計画の
構成員である企業が

TMRの役割をしている。③
現在、導入に向けた事業化
可能性調査を実施しており、
町全体で計画を作成し、実
施に向けて進めていく。

④酪農ヘルパー組合は農協
の組織であるが、町としても
研修体制など新規就農も含
めてサポート体制を考えて
いく。

森林認証制度

桜井崇裕 議員

十勝の民有林では、森林
組合、市町村、山林所有者
などで構成する「とかち森
林認証協議会」が設立され、
認証取得に取組もうとして
いる。

本町の町有林について、
参加の考えがあるか伺う。

高薄町長

この認証制度は日本独自の
ものであり、世界的に認め
られる制度になっていない。
現段階では全体的な取組
みではなく、

更新時期までの5年で検討
はするが、会費が非常に高
く、本町には特別なメリット
がないことから参加を見
合わせている。

税収入の現状と今後の見通し

原 紀夫 議員

税の不納欠損額は過去10
年で最低額となっており
、平成22年度以降、町民
税の収入未済額は増加に
転じ、平成26年度決算
では5千万円を超えてい
る。

今後の財政見通しにつ
いて財政推計を出すのか。
また、来年度の予算はど
のような考えで組もうと
しているのか伺う。

高薄町長

今後の財政推計は予想が
つきにくいですが、目安と
して出していく。来年度
予算は総合計画を見直し、
老朽化した施設の改修や
備品の更新、更には医療
福祉分野で自

立・拡充していかなければ
ならない部分、また、地
域包括ケアシステムに伴
う専門職員等の配置など
を考えている。

スプレー缶の回収

原 紀夫 議員

スプレー缶やカセットコン
ロ用ガスボンベをこみとし
て出す場合のルールにつ
いて、「穴あけ不要」に変
更する自治体が出てきて
いる。製造会社でも使
い切った後にガスが残
っている可能性があり、
穴あけは危険だと警告し
ている。

本町は従前同様に町民
に穴あけをお願いする
ことだが、消防署に持
ち込むなど、将来、帯
広の「くりのりんセン
ター」に移すことも含
めて考えるべきではな
いか。

高薄町長

本町では現在不燃ごみ
として取り扱っているが、

将来、十勝全体で集約す
ることになっており、帯
広市がどう対応するか
によって変わる。帯
広市の対応に合わせて
取り扱いは検討する。

合同納骨塚建立に向けての進捗

原 紀夫 議員

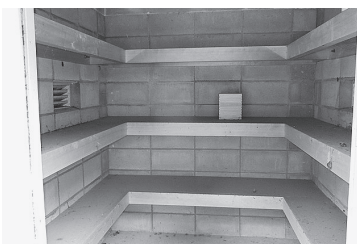
昨年12月議会で質問し、
将来（2～3年先）の必
要性について答弁いた
だいた。道内での建立
は増加傾向にあり、町
単独での建立を終えて
受け入れるところもあ
る。本町でも議会報告
会や町民から進捗状
況を問われることが
ある。

担当課から無縁仏を埋
葬する施設が存在が確
認でき、約100体分の
骨箱が収容可能と聞
いたが、今後どのよ
うな考えで進めよう
としているのか伺
う。

高薄町長

清水霊園の敷地内に使

用可能な納骨堂があるこ
とを確認した。これは、
清水霊園を改修・拡充
したときに建立した
ものであり、骨箱で約
100体分置けるし
っかりとした棚がある
ことから、これを当
面使用する方向で進
めたい。使用条件、
使用料等を含め、早
い時期の供用開始
を目指す。



清水霊園にある納骨堂の中。骨箱を置く棚が備え付けられている。

管理職等の多人数退職への対応

原 紀夫 議員

来年は多くの職員が定
年退職することにな
っているが、万全の
体制で継続対応
できるのか伺う。